

## コラム：菌核病の防除対策について

1月下旬の調査の結果、沖縄本島および石垣島の一部圃場において本病の多発生がみられました。本病は1～3月にかけて多く発生します。被害を最小限に食い止めるため防除を徹底しましょう。

### 1 発生状況

- (1) 沖縄本島南部地域のさやいんげん圃場における1月下旬の調査の結果、発病株率は7.4%（前年8.8%、平年1.8%）と平年より高かった（図1）。
- (2) 沖縄本島南部地域のレタス圃場における1月下旬の調査の結果、発病株率は3.0%（前年1.5%、平年0.6%）と平年より高かった（図2）。
- (3) 石垣島のさやいんげん圃場における1月下旬の調査の結果、発病株率は10.3%（前年6.7%、平年8.2%）と平年並であったが、一部圃場で多発生がみられた。

### 2 防除上注意すべき事項

- (1) 発病部位は、菌核が形成される前に早めに除去し、ビニール袋に入れるなどして圃場外へ持ち出し処分する。
- (2) 多湿時に発生しやすいので、老葉病葉は取り除き透光通風を良くする。
- (3) 植替えを行う場合は、地際部の菌核を残さないよう土壌ごと圃場外へ持ち出し処分する。
- (4) 例年発生時期に当たるので、薬剤による防除を徹底する。

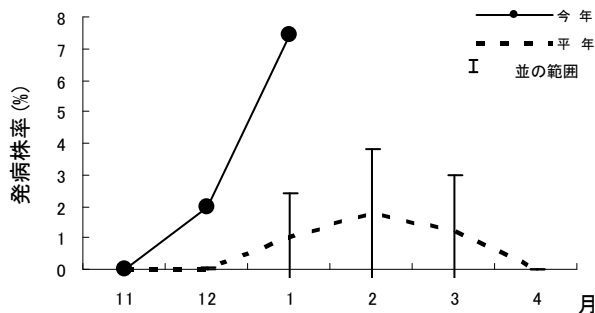


図1 さやいんげん(平張り)における菌核病の発生推移

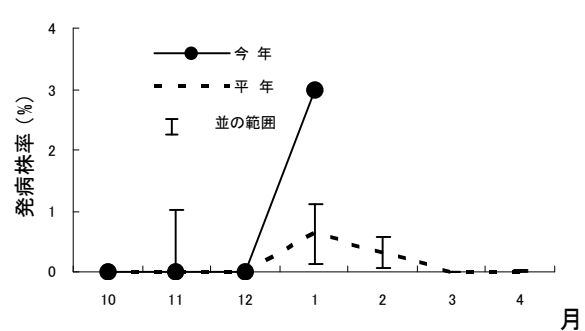


図2 レタスにおける菌核病の発生推移



図3 さやいんげんの発病果



図4 さやいんげんの地際部に生じた菌核



図5 レタス圃場における発生状況



図6 レタスの発病株